

(教養試験 警察官 A No. 1)

次の記述ア～オはそれぞれ、ケッペンの気候区分のうち温帯に分類される地中海性気候区、温暖湿潤気候区、西岸海洋性気候区のいずれかについて述べたものである。地中海性気候区について述べたものは二つあるが、それらはどれか。

- ア. この3気候区の中では、発達した熱帯低気圧の影響を最も受けやすい。
- イ. 偏西風の影響により気温の年較差が小さく、夏は冷涼で冬は温和である。
- ウ. 年降水量は比較的少なく、その大半は冬にもたらされる。
- エ. オリーブやレモンなどの栽培が盛んである。
- オ. 北アメリカ大陸では、メキシコ湾岸から大西洋岸にかけての地域が該当する。

- 1. ア, エ
- 2. ア, オ
- 3. イ, ウ
- 4. イ, オ
- 5. ウ, エ

正答番号 5

(教養試験 警察官 A No. 2)

身のまわりのものに使われている材料に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. ゴムには、ゴムノキから作られる天然ゴムと石油から作られる合成ゴムがあるが、工業製品に使われているのはほぼ全てが天然ゴムである。
2. ガラスは、炭素原子が規則正しく並んだ結晶であり、水で練った原料を成形して窯で焼き固めて作るため、熱に強い性質をもつ。
3. 半導体は、比較的融点が低く、金属によくなじみ、導電性が高い物質であり、金属同士を接合するために使われる。
4. プラスチックは一般に埋め立てても分解されないが、近年、地中の微生物によって分解されるプラスチックも利用されている。
5. ナイロンやレーヨンは、絹や羊毛と同じ天然繊維であり、タンパク質を主成分とする動物繊維である。

正答番号 4

(教養試験 警察官 A No. 3)

A～Eの5人がアイスクリーム店に行き、イチゴ、オレンジ、バニラ、抹茶、メロンの5種類のフレーバーのうちからそれぞれ2種類を選んだ。次のことが分かっているとき、確実に言えるのはどれか。

- ・ 5人が選んだ2種類のフレーバーの組合せは全て異なっていた。
- ・ イチゴとバニラの両方を選んだ者はいないが、5人ともどちらか1種類を選び、CもDもイチゴを選んだ。
- ・ メロンを選んだのは1人だけであった。
- ・ CとEはいずれもAと同じフレーバーを選ばなかった。
- ・ Dはオレンジを選んだ。

1. Aはメロンを選んだ。
2. Bはイチゴを選んだ。
3. Cは抹茶を選んだ。
4. AとDがそれぞれ選んだフレーバーのうち、1種類は同じであった。
5. BとEがそれぞれ選んだフレーバーのうち、1種類は同じであった。

正答番号 4